



TITLE:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第24巻  
第9号) 編集後記・編集委員・購読  
要項・投稿内規

AUTHOR(S):

CITATION:

表紙・目次 (泌尿器科紀要 第24巻第9号) 編集後記・編集委員・購読要  
項・投稿内規. 泌尿器科紀要 1978, 24(9): 805-805

ISSUE DATE:

1978-09

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/122253>

RIGHT:

# 泌 尿 器 科 紀 要

第 24 巻 第 9 号

1978年9月

腎性高血圧症の研究	
遊走腎の腎静脈血レニン活性について.....原 利	705
膀胱腫瘍の再発に関する臨床統計的観察	
第2報 手術式別および病理組織像による再発率について.....朝日 俊彦	713
回盲部導管造設術の術後合併症について	
消化器合併症を中心として.....南 光二	717
Prostaglandin $F_{2\alpha}$ 誘導体の膀胱尿管の排尿運動に関する実験的研究.....中新井邦夫	727
膀胱の voiding defense mechanism の数量的解析 IV. 滲透圧および pH の generation time におよぼす影響について.....桐山 實夫・ほか	735
特異な尿路転移を起した胃癌の1症例(英文).....有吉 朝美・ほか	743
前立腺原発移行上皮癌の1例.....岸本 知己・ほか	747
腎移植後後腹膜膿瘍の診断に $^{67}\text{Ga}$ scan が有効であった1例.....井原 英有・ほか	753
複雑性尿路感染症に対する Fosfomycin calciumの臨床評価—二重盲検法による Carbenicillin indanyl sodium との比較試験—.....石神 襄次・ほか	757
二重盲検法による Fosfomycin (FOM) と Carbenicillin indanyl(I-CBPC) の複雑性尿路感染症に対する薬効比較.....矢戸仙太郎・ほか	779
尿管結石の自然排出について	
とくに臭化チメピジウムの影響についての検討.....八竹 直・ほか	799

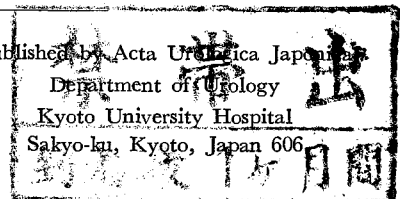
## CONTENTS

Studies on Renal Hypertension. Renal Vein Plasma Renin Activity of Movable Kidney.....T. Hara	705
Clinico-Statistic Study on Recurrence of Tumor of the Bladder. Report II: Recurrence Rate According to the Operation Methods and the Pathological Findings.....T. Asahi et al.	713
Postoperative Complications of Ileocecal Conduit: Gastro-Intestinal Complications.....K. Minami et al.	721
An Experimental Study of the Urodynamic Effect of the Derivative of Prostaglandin $F_{2\alpha}$ .....K. Nakaarai et al.	727
The Voiding Defense Mechanism of the Urinary Bladder: Effects of Osmolarity and Hydrogen Ion Concentration on Generation Time of Bacteria.....T. Kiriya et al.	735
A Case of Gastric Carcinoma Selectively Metastasized to the Urinary Tract.....A. Ariyoshi et al.	743
Primary Transitional Cell Carcinoma of the Prostate: Report of a Case.....T. Kishimoto et al.	747
Abscess Scan by $^{67}\text{Ga}$ -Citrate in Renal Transplant Recipient: Report of a Case.....H. Ihara et al.	753
Clinical Evaluation of Fosfomycin Calcium in the Treatment of Complicated Urinary Tract Infection -A Double Blind Study to Compare with Carbenicillin Indanyl Sodium-J. Ishigami et al.	757
A Double-Blind Comparison of the Efficacy of Fosfomycin and Carbenicillin Indanyl in Complicated Urinary Tract Infections.....S. Shishito et al.	779
A Study on Spontaneous Passage of Ureteral Stone -Effect of Timepidium Bromide to Ureteral Stone-.....S. Yachiku et al.	799

〒606 京都市左京区聖護院川原町  
京都大学医学部泌尿器科学教室  
泌尿器科紀要編集部

泌尿紀要  
Acta Urol. Jap.

Published by Acta Urologica Japonica  
Department of Urology  
Kyoto University Hospital  
Sakyo-ku, Kyoto, Japan 606



## 編 集 後 記

“全集”というすぐ小説家の名が連想されるが、全集が発刊されているのは小説家ばかりとは限らない。経済学者や法律学者の全集も刊行されている。もし私の全集が編集されたと考えると、どこかに隠されてしまいたいような気恥ずかしい思いがする。論文の多くは、少なくともそれが書かれた時点では、丹精込めて書いたつもりである。6回も7回も書き直したのものもある。しかしそれでも満足したものはない。どこかに欠点やごまかしがある。また私の成長につれ、正しいと思って書いたことが間違いとわかってきたこともある。ましてやいろいろな事情で、不本意ながら書かざるをえなかった論文もある。そんなものが全集としてまとめられ改めて人目にふれるとなると、恥を天下にさらすような思いがするだろう。

一度印刷され公表されたものは、取消すわけにはいかない。そんなわけで、たとえ小さな論文でも精魂を傾けて欲しい。どんなに丹精を込めてもう十分ということはないはずである。特にこれから日本の泌尿器科学を背負っていく若い医師たちにそれを望みたい。本誌の編集に携わり、多くの原稿に接してきてはじめて、書きなぐりの論文の少なくないのを知ったからである。“文は人なり”という。心して欲しいことではある。(T.K.)

## 編 集 委 員

石 神 襄 次	前 川 正 信	宮 崎 重
新 谷 浩	園 田 孝 夫	友 吉 唯 夫
桐 山 菅 夫 (副主幹)	吉 田 修 (主 幹)	

## 購 読 要 項

1. 発行は毎月(年12回)とし、年間購読者を会員とします。ただし合併号を出すことがあります。
2. 会員は年間予約購読料5,000円(送料とも)前納していただきます。

分売は原則としていたしません。払込みは振替に限ります。口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部宛。外国は送料とも年間25ドルです。

3. 入会は氏名(フリガナ)、住所(雑誌郵送先)、勤務先をご記入のうえ編集部あて、はがきにてお申し込みください。

## 投 稿 内 規 (1969年1月改正)

1. 原稿の種類は総説、原著、臨床報告、その他。和文または英文とします。
2. 原稿の長さは制限しませんが簡潔に願います。
3. 和文原稿は400字詰原稿用紙横書きとし、当用漢字、平かな、現代かなづかいを用い、片かなには「」を要しません。表、図の説明はなるべく英文にしてください。文中欧語学術用語は固有名詞、記号以外はキャピタルではじめる必要はありません。必ず英文抄録をつけ、これには英文の表題、所属機関名、ローマ字著者名も記入しておいてください。  
英文抄録は詳細なものを歓迎します。ご希望の場合は当編集部にて作成しますので、抄録用の和文原稿を別につけてください。翻訳の実費は申し受けません。
4. 英文原稿の場合はタイプで2行の間隔をあけ、和文表題と和文抄録をつけてください。
5. 数字はすべて算用数字を使用し、数量の単位は m, cm, mm, cc, ml, kg, g, mg, °C, μ, %, pH などを使用し、は不要です。また BUN IVP NPN PSP TUR なども、を要しません。
6. 表、図、写真などはすべて別紙とし、説明は和文、英文を問わず Table 1, Fig. 2 等としてください。
7. 文献の書式は次のようにしてください。  
A 雑誌の場合 著者名: 誌名, 巻数: 頁数, 西暦年次。(論文題名は自由です)  
文献名は正式略称を用いてください。  
例: 日泌尿会誌, 臨床皮泌, 皮と泌, 泌尿紀要, 臨泌; J. Urol., Invest. Urol., Zschr. Urol. 等。  
B 単行本の場合 著者氏名: 書名. 版数, Vol. 数, p. 数, 発行所, 出版地, 年次。
8. 校正は初校のみ著者にもお願いし、再校以降は編集部のみがおこないます。著者複数の場合、校正責任者をお示しください。
9. 原稿は返却いたします。
10. 原稿到達日を受付日とし、予約による受付はいたしません。
11. 原稿送り先は、〒606 京都市左京区聖護院 京大病院 泌尿器科紀要編集部、書留便。

泌尿器科紀要 第24巻 第9号

1978年9月25日 印刷

1978年9月31日 発行

創刊 稲 田 務

顧問 加 藤 篤 二

定価 500円(送料別)

発行 吉 田 修

発行所 泌尿器科紀要編集部

〒606 京都市左京区聖護院川原町34

京都大学医学部泌尿器科学教室内 電話(075)751-3327(直通)

印刷所 山代印刷株式会社 京都市上京区寺之内通小川西入